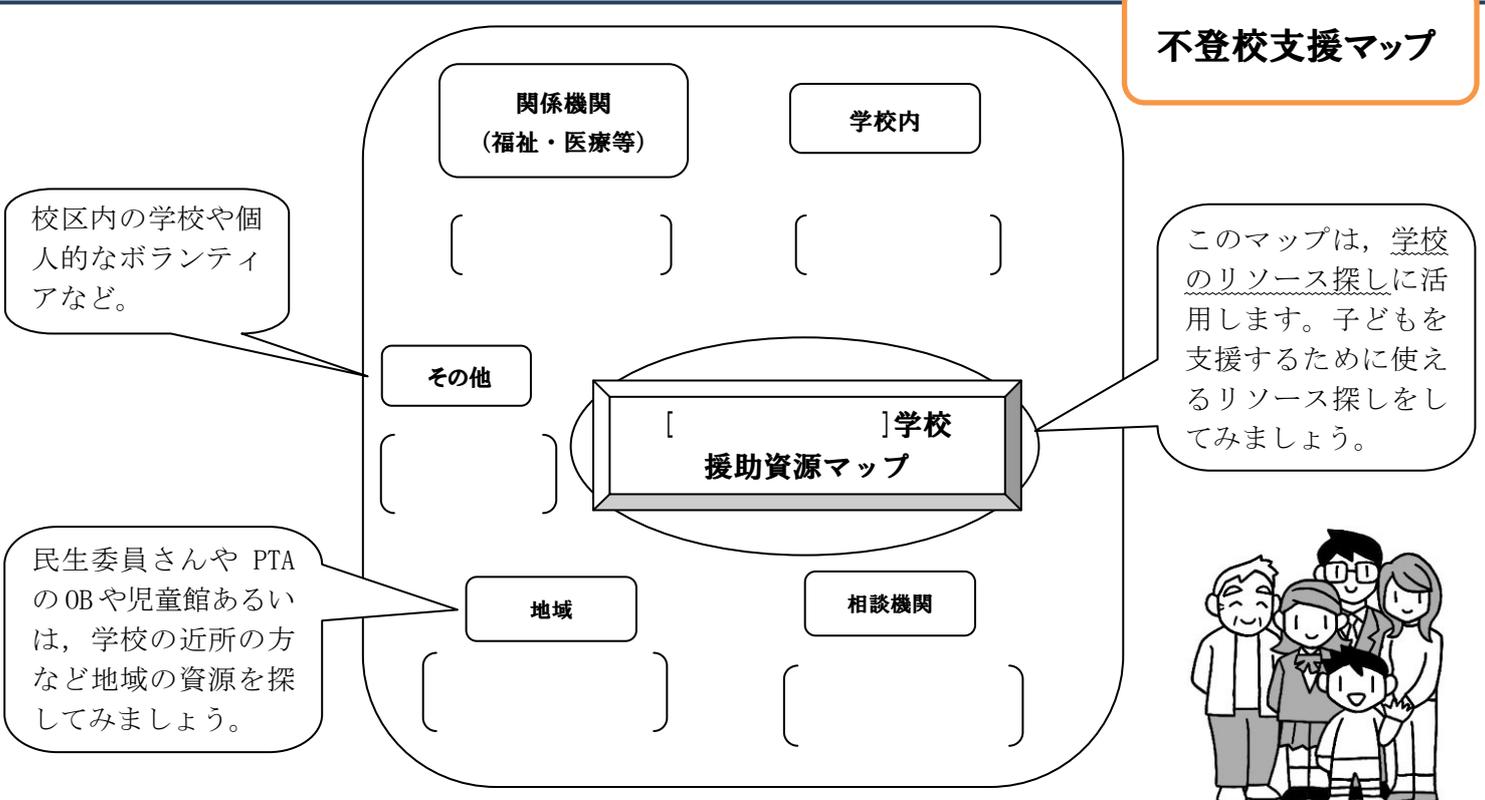


# 不登校支援 一学校でできること

第3回不登校支援担当者研修会に鹿嶋真弓先生（高知大学准教授）を講師に迎え、学校でできる不登校支援について研修を行いました。研修の中で実際に使えるシート2種類について提案していただきました。この不登校支援マップ（援助資源マップ・登校支援ロードマップ）の使い方を紹介します。

## 不登校支援マップ



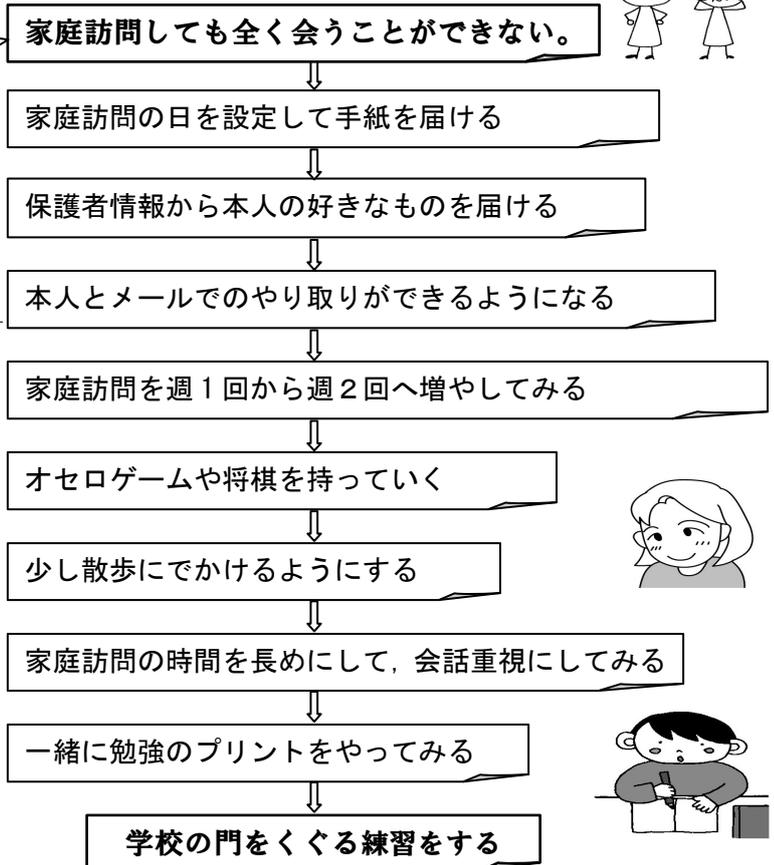
## 登校支援ロードマップ

登校に向けた支援にひと工夫を加え、学校へ向かうための支援のステップを考える『登校支援ロードマップ』です。ほんの少しずつ変化を加えながら支援していきましょう。個々の状態を見ながらステップアップするとよいでしょう。

家庭訪問したときに、会えてよかったというメッセージを伝えてくる。



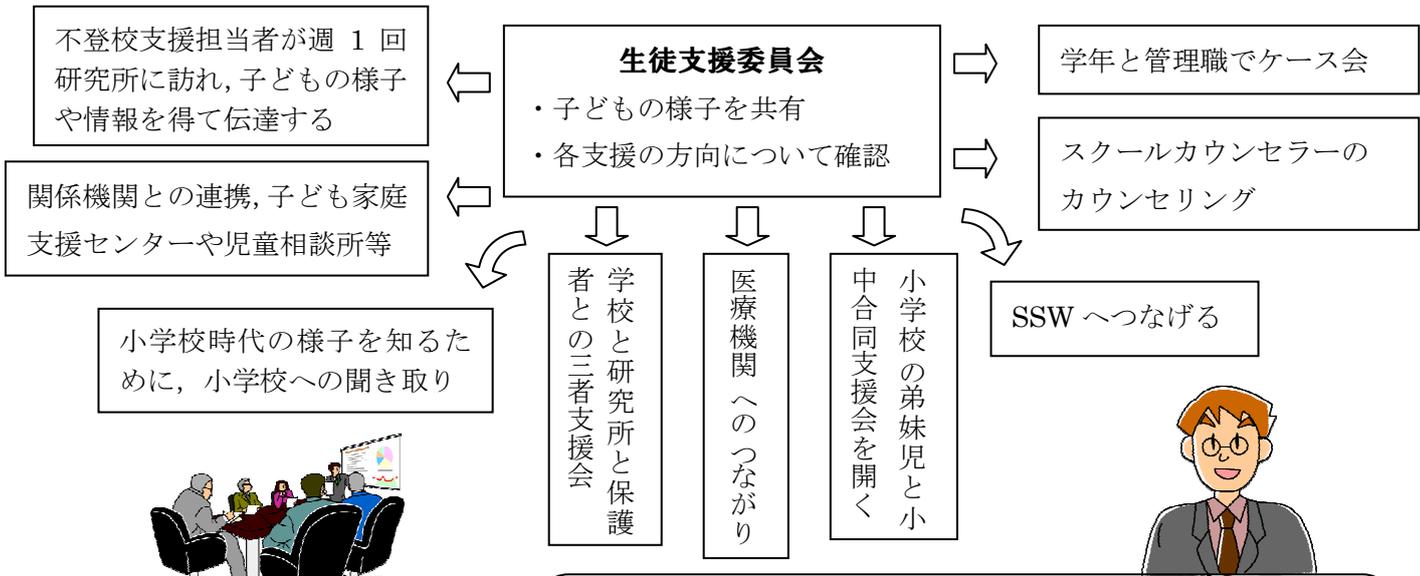
高知大学 准教授 鹿嶋真弓先生



『不登校支援はチーム支援である』不登校支援担当者を中心に校内で組織的に行うことでより充実した支援へと向かいます。2校の校内支援体制を紹介します。

**【横浜中学校】**

時間 金曜日 3時間目  
 場所 校長室  
 参加者 校長・教頭・養護教諭・不登校支援担当者（学年代表を兼ねる）・各学年生徒支援担当  
 特別支援コーディネータ・教育研究所・SSW 計9名



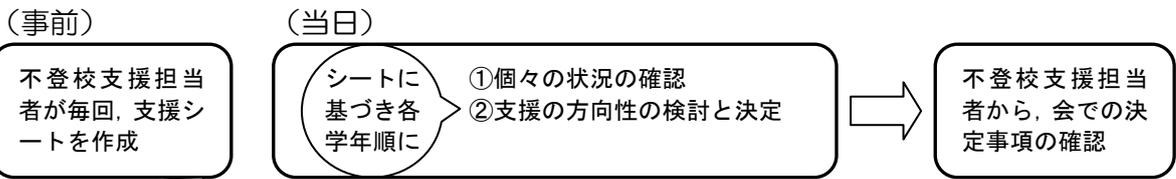
**不登校支援担当者の役割**

- ・ 研究所との連絡調整と研究所へ週1回訪問し子どもへの支援
- ・ 個々の支援に関わって関係機関の調整
- ・ 教育相談に関する資料作成
- ・ 教育相談の研修の設定と司会等
- ・ 「Q-U」や「あったかアンケート」実施に向けての提案

**【城西中学校】**

時間 木曜日 4時間目  
 場所 会議室  
 参加者 校長・教頭・養護教諭・不登校支援担当者・各学年代表・SSW・スクールカウンセラー  
 教育研究所 計10名

**会の流れ**



さまざまな立場の人の情報や見立てを知ることができる。

事実としての共通の認識ができる。

一週間でも生徒を取り巻く状況や生徒の気持ちは刻々と変化するので、細かな手立てがうちやすくなる。

不登校対応委員会 月日～月日 実施日:平成 年月日 第 回

出席者(校長・教頭・学校不登校担当・1年不登校担当・2年不登校担当・3年不登校担当・研究所・養護教諭・SSW・SC)

※学年会で学年生徒の状況を必ず伝えて下さい。(学年の先生ならだいたい状況がわかるように)

クラス	氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	状況等	方向性
登校しているが、欠席10日以上、保健室頻回来室、継続的なカウンセリング等、复になる生徒														
クラス	氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	状況等	方向性
*学習が可能な生徒に対しては、詳細の資料が得られるような働きかけ。 *初めは関わる人を少人数にして、交代しながらチームとしてできるだけ定期的な訪問。 *カウンセリングは標準時間は1人、で60分前後、専断。どちらかのカウンセラーと決めて実施。 *授業時間中に継続支援となる場合はできるだけ無断に時間にはかからないようにする。 *カウンセリングは本人はじめ、いろいろな組織からの連携を受け、担任と相談し、時間等調整をして、連絡先をカウンセラーへ又は養護教諭担当へ送付することとする。 *登校み時は情報が入っていないときは複数で入ること可。														

委員会ですべての課題になったことをもとにすぐに支援会がひらきやすい。

次の展開に向けて、それぞれの役割を確認できる。

学年に不登校支援担当者があることで、「不登校対応」についての意識が全体にひろがりやすい。